

歩いたたびに **ふっさ十景** 新しい発見がある

水に映る草花、空を仰ぐ大木、自然に包まれた社…、ふっさ十景は四季折々、そして毎日の天候や行き交う人々によって彩られ、さまざまな姿をみせ、訪れるたびに新しい魅力が発見できます。

You Can Always Find Something New
— Ten Scenic Sites of Fussa —

The old and the new: Fussa boasts point of both historic and current interest. The ten scenic sites of Fussa are outstanding views, ten different kinds of beauty to enjoy.

プロムナード福生



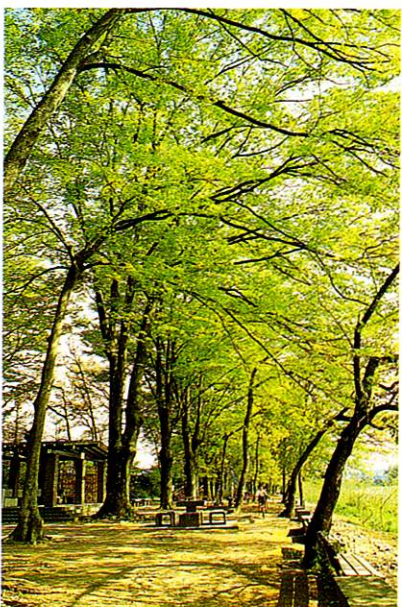
1 玉川上水 新堀橋付近

玉川上水の清流が草木の緑を映し出す神秘的な風情は、新東京百景のひとつに数えられています。豊かな緑をたたえ武蔵野の面影を残す水辺は、数多くの野鳥や昆虫が集う自然の宝庫。忘れかけていた水の恩恵を思い出させてくれます。

2 みずくらいど公園



自然な地形と雑木林をそのまま残した公園は、老若男女誰もがくつろげる憩いの場です。名称の由来は、江戸時代に玉川上水を掘ったところ砂利層が厚く、水を全部吸い込んでしまったところからつけられたもので、今も公園の林のなかに「水喰土」と呼ばれる玉川上水開削の跡が残っています。



3 柳山公園

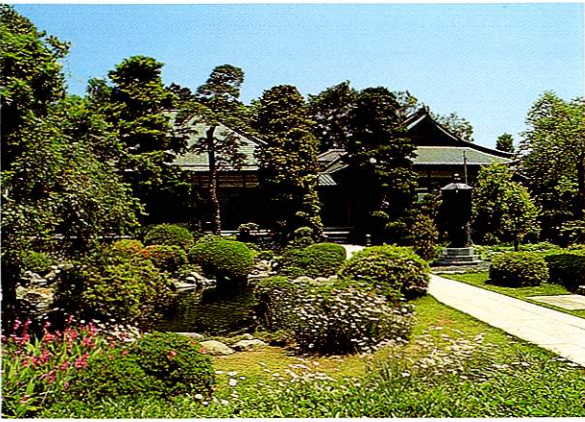
多摩川の瀬音と小鳥のさえずりの協奏曲に耳を傾けながら、ゆっくりと散歩したい公園です。けやきの大木群に、時には勇壮な姿を、時には清新なようすをと、四季折々違った美しさを味わうことができます。また、少し離れて、多摩橋や永田橋、あるいは多摩川の対岸からの眺めも見応えがあります。



4 南稲荷神社 付近

小さな赤い鳥居と向かい側にある造り酒屋の黒塀が、昔ながらの風情を漂わせる南稲荷神社界わいは、懐かしさと安らぎを与えてくれます。また、境内の大けやきは市登録天然記念物に指定されており、その壮大な姿は自然の偉大さを教えてくれます。

5 清岩院



庭園の湧き池に映る松の姿が、わびさびの風情をかもし出す美しい古刹。応永年間(1394~1428年)に建立され、当初は正連寺と称されていたといえます。境内には、本堂のほかに弁天堂や珍しい車地藏があり、静かなたたずまいのなか、ゆったりとした時の流れを感じさせてくれます。

7 桜並木と多摩川



3月も終わりに近づくと、多摩川の土手は薄桃色に彩られます。桜並木と静かな多摩川のせせらぎがおりなす早春の景観は、まさに日本の春の美しさをみせてくれます。その秀麗な景色に魅せられ、桜花の季節には大勢の人でにぎわい、「桜まつり」が盛大に開催されます。

9 文化の森



武蔵野の面影を残す雑木林の散策路で森林浴を楽しんでもよいし、散策路から続く自然と調和した建築がみごとな中央図書館で読書にいそむのもまた一興。小鳥のさえずりや緑たっぷりの環境のもと、文字どおり文化してみたいはいかがでしょうか。

6 熊川神社



桃山時代の木造建築で素朴ながらも荘厳な様相を呈しています。本殿は市内最古の木造建築物で、東京都の有形文化財にも指定されています。社を覆う樹木が重厚な雰囲気を漂わせ、神社の脇を流れる分水がさらに趣深い景観をつくりだしています。

8 国道沿いの商店街



ルート16沿いは、さながらアメリカのショッピング街。カラフルな花柄の敷石、横文字の看板、色とりどりに飾られたショーウィンドーなど、異国情緒たっぷりの商店が建ち並びます。掘り出し物を探すもよし、色鮮やかな看板めぐりをするのもよし、自分流に楽しみたいスポットです。

10 神明社



街の人々から「神明様」「やくし様」と呼ばれ親しまれている神明社は、明治7年の「神社合祀」によって、当時福生村の各地に祭られていた小祀が一ヶ所に集められた合祀です。大鳥居をくぐるとゆったりとした境内が広がり、宮造り建築の社、桜や楠の大木が落ちついた雰囲気をかもし出しています。